

News Release



平成28年4月18日

各報道機関文教担当記者 殿

「金沢大学大学院先進予防医学研究科」設置 4/19 看板除幕式を挙

このたび、平成28年4月1日に「大学院先進予防医学研究科」を設置したことに伴い、下記のとおり看板除幕式を行います。

本研究科では、従来の衛生学・公衆衛生学分野を基盤としながら、新たな方法論として、オミクス情報からマクロ環境情報まで個人や環境の特性を網羅的に分析・評価し、教育研究分野や医療分野等で、0次予防から3次予防までを包括した「個別化予防」を実践できる人材を育成します。なお、本研究科には、千葉大学大学院医学薬学府、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科と共同で同一のカリキュラムを編成し人材育成を行う「先進予防医学共同専攻」が置かれます。

については、当日の取材・事前報道をよろしくお願ひします。

記

大学院先進予防医学研究科 看板除幕式

- 日時：平成28年4月19日（火）15時30分～
※質問は事前に15時から15時20分に受け付けます。
（場所：医学類F棟1階論文審査室）
- 場所：金沢大学 医学類F棟正面エントランス(宝町キャンパス)
※別紙地図参照
- 出席者：山崎光悦 学長
柴田正良 理事（教育担当）・副学長
山本 博 理事（国際・附属病院・同窓会担当）・副学長
金子周一 医薬保健学域長・研究域長
中村裕之 先進予防医学研究科長 ほか

（本件照会先）
金沢大学医薬保健系事務部総務課長 池端
TEL：076-265-2113

（広報担当）
金沢大学総務部広報室 舘
TEL：076-264-5024

金沢大学 宝町キャンパス 案内図

別紙

金沢美術工芸大学

鶴間地区

Tsuruma Area

至鈴見

北病棟

医学部
記念館

西病棟／東病棟

十全講堂

医学類A棟

医学類B棟

つくしんぼ
保育園

金沢
先進
医学
センター

外来診療棟

医学類C棟

医学類D棟

遺伝子
研究
施設

医学図書館

実験動物
研究施設

立体駐車場

医学類E棟

アイソ
トープ
総合
研究施設

アネックス棟

医学類
教育棟

医学類G棟

医学類F棟

場所：F棟正面エントランス

質問は、15時から15時20分に
F棟1階論文審査室にて
受け付けます。

県道金沢井波線

小立野
大学病院前
バス停

医学部
創立150周年
記念モニュメント

医学類
福利施設

課外
活動施設

立体駐車場

至笠舞

如来寺前
バス停

金沢大学大学院先進予防医学研究科

～先進的な予防医学をめざして～

千葉大学・金沢大学・長崎大学の国立3大学による
「先進予防医学」共同大学院

金沢大学では、「大学院先進予防医学研究科」の下に
金沢大学・千葉大学・長崎大学の3大学による
「先進予防医学共同専攻(共同大学院)」を設置し、共同で
教育課程(カリキュラム)を編成します。この共同大学院では、
従来の衛生学・公衆衛生学分野を基盤としながら、個人の環境の特性を
網羅的に分析・評価し、0次予防から3次予防までを包括した
「個別化予防」を実現する「先進予防医学」を実践できる
専門家を育成する共同大学院です。

共同大学院の特色

本共同大学院は、千葉大学、金沢大学、長崎大学の国立3大学が持つ強み、

{ 千葉大学 }
マクロ環境評価・解析

{ 金沢大学 }
オミクス解析

{ 長崎大学 }
情報医工学

を組み合わせたカリキュラムを編成しています。また、併せて3大学が有する国内・海外拠点のフィールド活用や、地理的に離れた地域のデータの集積・標準化等を行うことにより、本共同大学院の設置趣旨に適う教育研究・人材育成の基盤を担保しています。

体制としては、千葉大学大学院医学薬学府、金沢大学大学院先進予防医学研究科、長崎大学大学院医歯薬学総合研究科のそれぞれに「先進予防医学共同専攻」が開設されます。入学時は、主たる指導を希望する教員が所属する大学を選択しますが、受けることのできる教育内容は同じです。また、教育課程は4年制の博士課程のみであり、授与する学位は、「博士(医学)」となります。



つねに、より高きものをめざして

首都圏に位置する総合大学として、世界を先導する創造的な教育・研究活動を通し「生命のいっそうの輝きをめざす未来志向型大学」として、たゆみない挑戦を続けています。



地域と世界に開かれた教育重視の研究大学

21世紀の時代を切り拓き世界の平和と人類の持続的な発展に資するために、「地域と世界に開かれた教育重視の研究大学」をめざしています。



社会の調和的発展に貢献する大学

日本の西洋医学発祥の地として、長崎に根づく伝統的文化を継承し、豊かな心を育み、地球の平和を支える科学を創造し、世界にとって不可欠な「知の情報発信拠点」であり続けます。

医学分野での強み
マクロ環境医学／免疫環境医学／
サステイナブル環境健康学

医学分野での強み
マイクロ診断学／DNAチップ診断／
テーラーメイド予防医学

医学分野での強み
放射線健康リスク制御学(国際放射線保健医療研究)／情報工学(神経情報学)／離島・へき地医療学

医学薬学府

先進予防医学研究科

医歯薬学総合研究科

共同専攻(大学院)

共同教育課程(点線枠内で同一の教育カリキュラムを持つ)

先進予防医学共同専攻【4年制博士課程】
(定員10名)

先進予防医学共同専攻【4年制博士課程】
(定員12名)

先進予防医学共同専攻【4年制博士課程】
(定員10名)

先端医学薬学専攻

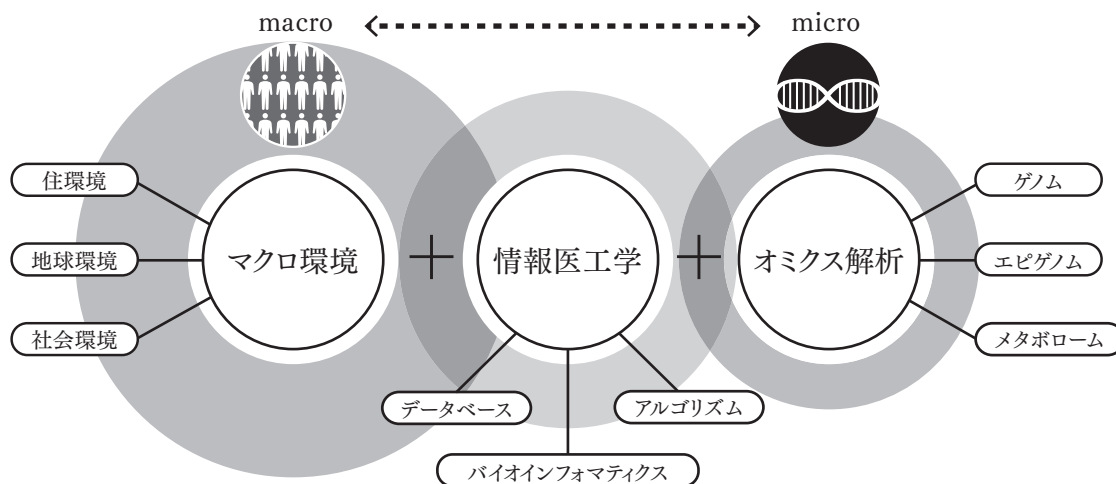
医薬保健学総合研究科

医療科学専攻

放射線医療科学専攻

先進予防医学の方法論

マイクロからマクロまで、基礎研究から臨床までを相互に関連させる



0次予防の概念を加えた"兆し前"からのアプローチ

従来の予防医学で実施していた1次から3次までの予防段階に加え、発病前の段階から罹患を予測し未然に予防する「0次予防」の概念を加えた、新たな方法論を確立します。0次予防から3次予防を相互に関連付け、統合的に扱うことで、免疫疾患、生活習慣病、精神・神経疾患、希少疾患等の発病の可能性を低減させることをめざします。

共同大学院の **カリキュラム**

{ キャリアデザイン }

高齢化社会に向け、予防と治療を一体化させた医療を確立し、個人の生涯に渡る健康と持続可能な健康社会の実現を担う人材

個別化予防を実践するために必要な基盤整備や方法の開発・改良等に携わることのできる先進予防研究者・教育者

予防と治療を一体化させた医療や薬剤による副作用を未然に防ぐ方法を提供できる医師、薬剤師

{ 育成する人材像 }

従来の衛生学・公衆衛生学分野を基盤とし、新たな方法論として、オミクス情報からマクロ情報環境までの個人や環境の特性を網羅的に分析・評価し、教育研究分野や医療分野等で0次予防から3次予防まで包括した「個別化予防」を実践できる人材の育成を目指す。

博士論文 (学位論文審査)

4
年次

研究支援 科目群

学生ごとに設定された研究課題の遂行 ■特別研究Ⅱ ■研究デベロップメントⅡ

3
年次

国内・海外 フィールド 実習に関する 科目群

修得した知識を活用し、実践できる力を身に付けるための国内・国外での多様なフィールド実習。任意の科目を最低1科目以上履修する必要があります。

- ゲノム実習
- ヘルシーシティーズ・都市部コホート実習
- 離島コホート実習
- 過疎地コホート実習
- 地域医療実習
- 地域医療情報実習
- 原爆被爆者健康診断学実習
- 放射線臨床疫学実習 (ウクライナ (チェルノブイリ))
- 海外母子コホート実習 (イタリア)
- グローバルヘルス環境医学実習 (ドイツ)
- HIV/AIDS 研究フィールドワーク実習 (ケニア)
- ウイルス感染症研究フィールドワーク実習 (ベトナム)
- 寄生虫感染症研究フィールドワーク実習 (インドネシア)
- グローバルヘルス実習 (国際機関)

研究支援 科目群

学生ごとに設定された研究課題の遂行 ■特別研究Ⅰ ■研究デベロップメントⅠ

1
~
2
年次

先進予防 医学に関する 科目群

オミクス情報からマクロ環境情報まで個人や環境の特性を網羅的に分析・評価するための知識・手法を学びます。

オミクス解析領域

- 臨床遺伝学
- 分子腫瘍医学
- 栄養代謝学
- 分子薬剤応答学
- オミクス解析

情報医学領域

- メディカルロボティクス
- バイオインフォマティクス
- 探索イメージング学
- レギュラトリーサイエンス
- 医療情報管理学
- 情報医学

マクロ環境領域

- 行動・精神衛生
- サステイナブル環境健康科学
- 社会疫学
- 放射線健康影響概論
- 地域医療学
- 医療政策・マネジメント
- マクロ環境

研究支援 科目群

研究課題の設定と研究立案能力や研究遂行力を養うための基礎的素養の修得。
■課題研究 ■研究実践レポート

学問基盤に 関する科目群

先進予防医学を学ぶための学問基盤を身につけます。
非医療系から入学する者のための科目も設けています。
■医学統計学・疫学 ■生命倫理 ■環境と遺伝 ■医学基礎

■ 共同大学院では、構成する大学から10単位ずつ履修する必要があります。

■ 講義は、所属大学における対面型の講義と講義室以外で受講するVOD(オンデマンド型)の講義があります。VOD型の講義では、単に講義動画を視聴するだけではなく、Web上での課題やディスカッション等により、理解を深めます。

■ 2年次から4年次に開講される研究支援科目では、所属大学が開講する実習科目と所属する以外の2大学から選任される副指導教員2名が開講する演習科目をそれぞれ履修することになります。

共同大学院の 基本方針 (3つのポリシー)

アドミッション ポリシー

先進予防医学共同専攻では、従来の衛生学・公衆衛生学分野を基盤とし、新たな方法論として、オミクス情報からマクロ環境情報まで個人と環境の特性を網羅的に分析・評価し、0次予防から3次予防までを包括して個別化予防を目指す「先進予防医学」を実践できる専門家を育成することを目的とします。

したがって、幅広い視野と創造性、自立性、倫理観を備えて、人の健康に強い関心と研究への意欲を持つ者を求めます。

カリキュラム ポリシー

先進予防医学共同専攻では、高度な知見・技術を習得し、それを実践できる能力を身に付けさせるようカリキュラムを構成します。

先進予防医学の基盤となる、「医療統計学・疫学」、「生命倫理」、「環境と遺伝」といった学問基盤に関する科目群を設けます。なお、非医療系入学者に対しては、基本的な医学知識を修得する科目を履修させます。

0次予防から3次予防まで包括した「個別化予防」を実践するための方法論を習得させるために、「オミクス解析」、「情報医工学」、「マクロ環境」等の科目群を設けます。

複雑化した医療現場・社会の課題解決に向け、修得した専門知識を活用し、実践できる力を身に付けさせるために、国内・海外の多様なフィールド実習の科目群を設けます。

学位論文作成においては、知識の修得段階に応じた研究力を強化する科目を含め、構成大学の教員が体系的な研究指導を行います。

ディプロマ ポリシー

先進予防医学共同専攻を修了することによって、個人や環境の特性を網羅的に分析・評価し、0次予防から3次予防までを包括して個別化予防を目指す「先進予防医学」を実践することができます。それにより、多様で複雑化する医療現場・社会において生じている様々な課題を、高度な知見と技術をもって、解決に導くことができる能力を身に付けていることが求められます。修了者には、博士（医学）の学位を授与します。

金沢大学の指導教員

領域	研究分野	指導教員
生体システム領域	核医分子イメージング学	絹谷 清剛
	疾患幹細胞学	平尾 敦
	腫瘍遺伝学	大島 正伸
	腎病態統御学	和田 隆志
	システム生物学	金子 周一
	循環予防医学	今野 哲雄
代謝領域	代謝生理学	井上 啓
	栄養代謝学	太田 嗣人
	薬物動態安全性学	中嶋 美紀
	包括的代謝学	篁 俊成
	革新ゲノム情報学	田嶋 敦
高次機能領域	分子免疫学	村松 正道
	認知症先制医療学	篠原もえ子
	免疫生体防御学	華山 力成
	機能解剖学	尾崎 紀之
	運動器制御学	土屋 弘行
微生物・環境領域	ウイルス感染症制御学	市村 宏
	寄生虫感染症制御学	所 正治
	公衆衛生学	中村 裕之
	共生微生物学	飯田 宗徳
	環境生体分子応答学	西條 清史

金沢大学先進予防医学研究科の 受験を考えている方へ

■出願大学、受験大学及び本籍（学籍）を置く大学 について

出願及び受験については、志願する大学に出願し、当該大学で入学者選抜試験を受験することになります。

入学後に本籍（学籍）を置く大学は出願及び受験をした大学となり、授業料等の納付、奨学金の申請その他の各種手続については当該大学の学生として手続を行うことになります。

■出願上の注意について

先進予防医学共同専攻は3つの構成大学が1つの教育課程を共同で運営するため、構成大学の1つに入学手続を完了した者は、他の構成大学の入学者選抜試験に合格しても入学手続を行うことはできません。

問い合わせ先

カリキュラム、入学に関する事など、その他の不明な点がある場合は、以下に問い合わせてください。

〒920-8640 金沢市宝町13番1号
金沢大学医薬保健系事務部学生課医学学務係
(先進予防医学研究科担当)

電話 (076) 265-2121

e-mail t-igaku1@adm.kanazawa-u.ac.jp

金沢大学（大学院先進予防医学研究科）Web サイト
URL <http://kanazawa.s-yobou.jp/>